

桜 生 工

2018 日本大学生産工学部校友会誌

CONTENTS

ごあいさつ

生産工学部校友会長 高野 和雄	2
生産工学部学部長 落合 実	3
鳥人間コンテスト 2連覇	4
生産工学部と習志野市が地域防災向上に関する覚書を締結	5
平成30年度 生産工学部校友会 代議員総会	6
平成30年度 生産工学部校友会 代議員総会 懇親会	7
環境安全工学科・創生デザイン学科創設 10周年祝賀会	8
工科系校友会 連絡会	8
第11回 風力発電コンペ	9
2019年度 キャンパスガイド表紙デザインコンペ	9
第30回 母校を訪ねる会・桜泉祭	10
第13回 日進会(教職員・校友会合同)ゴルフコンペ	10
OB 紹介	
鈴木 晴香(旧姓 成田) 数理情報工学科卒業	11
菅原 知里 電気電子工学科卒業	11
学科ニュース	12

高野 和雄 生産工学部校友会会長



日本大学生産工学部
校友会 会長

高野 和雄

そして、日本大学も創立130周年を迎えます。来年はどのような年になっているでしょうか。来年も、そして、来年以降も母校の後輩たちのために、校友会として何ができるかを常に考えていきたいと思います。

さて、近況をご報告させていただきます。環境安全工学科および創生デザイン学科創設10周年記念祝賀会が9月29日(土)に津田沼キャンパス39号館2階食堂で盛大に執り行われました。当日は台風の影響が心配されましたが、本学部関係者の他、多くの卒業生、学科設立時に尽力された先生方が多数来られ、創設10周年を祝いました。祝賀会では校友会を代表して私も一言お祝いの言葉を述べさせていただきました。また、新学科設立の構想を立上げ、その陣頭指揮にあたった石井進相談役からは新学科設立の経緯が、環境安全工学科および創生デザイン学科の一期生からは当時の苦労話も披露されました。

また、昨年の桜生工では津田沼航空研究会の悲願であった鳥人間コンテストの初優勝について報告させていただきました。今年の放映をご覧になった方も多数いらっしゃると思いますが、まさか、二年連続で優勝をご報告出来るとは思ってもみませんでした。今年の大会は台風の接近や様々なアクシデントもあり、そのような中で、津田沼航空研究会は昨年の記録を更新して二連覇を達成しました。この部門(滑空機部門)での学生による二連覇は初めての快挙ではないでしょうか。

学部と校友会の共同開催による祝賀会を「母校を訪ねる会」と同じ11月3日(土)に開催し、津田沼航空研究会のOBOGもたくさん駆けつけて下さいま

校友の皆様におかれましては、益々ご清栄、そして、ご鞭撻の趣、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より校友会活動について、ご理解とご協力を賜り、心から感謝しております。

今年で「平成」も最後となり、来年5月には新しい元号になります。

した。校友会として、二度目の優勝を祝し、金一封を贈呈しました。部員たちは三連覇に向けてすでに始動しております。次年度のパイロット候補は女子学生と聞いております。後輩たちの挑戦を注目すると同時に今までと変わらぬ支援を続けていきたいと思っております。

校友会はこれらの支援の他にも、奨学金の給付、風力発電コンペやキャンパスガイド表紙コンテストの審査と補助、新入生や優秀卒業生への記念品贈呈等、数多くの支援を行っております。各学科へは活動費の支援も行っており、在学生の学会発表の補助などに有効に使われております。このような活動はすべて校友会費によるものです。現在、その多くを準会員である在学生からの校友会費で賄っております。残念ながら、卒業生である正会員による校友会費はそれほど多くないのが現状です。ぜひ、正会員になられ、生産工学部をご支援頂ければと思います。正会員には日本大学校友会会報誌「桜縁」の送付の他、正会員ならではの日本大学病院の特典などもあります。

卒業生の皆様はテレビ等の報道でご存知のように、今年の5月は本学アメリカンフットボールの問題で辛い思いをされた方も多かったのではないのでしょうか。生産工学部のことではないといえ、同じ日本大学での出来事でしたので、私もいたたまれない気持ちで報道を見ておりました。しかし、この事実を真摯にとらえ、これを新たなスタートとし、卒業生として、生産工学部そして日本大学をしっかり支えていきたいと思っております。私は生産工学部校友会会長として、多くの校友会支部総会に招かれます。そして、時間の許す限り出席し、生産工学部校友会の活動の様子を紹介しております。そのような席でいつも感じるのが校友の絆の力強さです。この力強さでこの難局を必ず突破できると信じております。

今後も、校友会活動を通じて母校の発展に尽力する所存でおりますので、何卒、今までと変わらぬご支援、ご協力の程、心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、校友の皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

落合 実 生産工学部長



日本大学生産工学部長
日本大学副学長
生産工学部校友会名誉会長

落合 実

校友の皆様におかれましてはますますご健勝でご活躍のことと、心よりお慶び申し上げます。

生産工学部は、ご存じのように昭和27年(1952)工学部(現理工学部)工業経営学科を前身とし、昭和41年(1966)に生産工学部に改組され、本年が創設66年目を迎え、現

在、学部9学科24コース、大学院7専攻を有し、学部学生約6,200名、大学院前期課程約290名、後期課程33名が勉学に励み、約7万人の卒業・修了生を輩出するまでに発展しています。

生産工学部の発展は校友(卒業生)の皆さんの活躍が社会で高く評価されていることによるものです。そして、校友会からの直接的なご支援とご協力が更なる発展に繋がっております。感謝とお礼を申し上げます。

そこで、校友会から賜っております支援の一部を紹介いたします。第一には「生産工学部校友会奨学金」です。これは数十年前に莫大な基金を賜り、その利息を経済的に困窮した学生へ給付しています。加えて2012年の創設60周年記念事業で頂いた多額のご寄附も10年間、毎年、校友会奨学金として給付しています。第二には、学部行事である風力発電コンペ、キャンパスガイド表紙コンテスト、留学生研修旅行、桜泉祭、母校を訪ねる会などへの補助、入学生や優秀卒業生への記念品贈呈、鳥人間コンテストや運動部・文化サークルなどへの活動費補助、等々です。

この他に、校友の皆さんからは「生産実習」の受け入れ、学生への特別講演や就職活動に対するご支援、等々、多方面でお世話になっております。このような学生へのご支援も高野和雄会長ならびに石井進相談役をはじめとした校友会役員そして校友の皆様のご理解があつての賜ですので、改めて感謝申し上げます。

ここで教育活動の近況を報告いたします。

第一にはクォータ制を大学院も含めた全学年に導入したことです。いくつかの学科で数科目が半期制となっていますが本年度から原則クォータ制です。これは前期を第1、第2クォータ、後期を第3、第4クォータとして各クォータ、約2ヶ月間で成績を評価するものです。週2回の授業を行うことによる集中した講義とそれに合わせた教授手法で教育効果を高めるのが目的です。そして3学年後期からは空きクォータを使った長期の国内外のインターンシップ、海外留学や語学研修、そして充実した就職活動などが可能で、この期間での様々な自主的活動の経験や体験は学生のキャリアデザインに繋がる貴重な財産となります。

次には、3つの学科横断型プログラムの充実です。詳細はホームページを参照ください。

「ロボットエンジニア育成実践プログラム(Robo-BE;ロボビィ)」、「事業継承者・企業家育成プログラム(Entre-to-Be;アントレトゥービィ)」そして「グローバル人材育成プログラム(GloBE;グロービィ)」です。

一方、日本技術者教育認定機構(JABEE;ジャビィ)の認定プログラムは、電気電子工学科、土木工学科、応用分子化学科そして数理情報工学科の4学科に認定コースが設置されています。なおこのプログラムの修了生は技術士資格試験の第一次試験が免除されます。

以上、Robo-BE、Entre-to-Be、GloBE、JABEE、これら「4ビィ」は各学科の専門教育と併せて、学生の多様な志向を更に高めるものであり、社会が求める、グローバル化を含めた社会の多様化に対応できる人材の育成を目指しています。生産工学部では創設以来、特徴を持った教育・研究を通して経営がわかる技術者を育成しており、企業後継者が多く卒業し、その子弟も卒業しています。伝統と特徴を生かした「生産工学部らしさの創造と実践」を更に推進し「生産工学部」を社会に発信して行きます。

今後も生産工学部発展のために校友会、卒業生の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りたく、心よりお願い申し上げます。



鳥人間コンテストで生産工学部津田沼航空研究会が二連覇を達成しました！

第41回鳥人間コンテスト2018年7月28日（土）、29日（日）の2日間、琵琶湖で開催されました。今年の大会は台風12号の接近に伴う強風の影響を受け、難しいフライトになりました。コンディションの悪い中、本学部津田沼航空研究会は滑空機部門の記録を更新し（446.42m）、見事優勝しました。昨年の初優勝に続いての連続優勝で、学生チームとして史上初めて二連覇を達成しました。この記録は歴代4位、学生歴代1位の好記録です。

ご覧になった校友の方も多いかと思いますが、決勝大会の様子は読売テレビ系で「Iwataniスペシャル第41回鳥人間コンテスト」として8月29日（水）にTV放送されました。「鳥人間コンテスト」は読売テレビ主催の人力飛行機の滞空距離および飛行時間を競う競技会で、滑空機部門と人力部門の2つの部門で争われます。津田沼航空研究会は1996年に初出場し、今年で14回目の出場になります（グアム大会を入れると15回になります。）第30回大会（2006年）の第2位が初めての表彰で、当時の記録は252.67mでした。

今年の機体名は「Gardenia」で、クチナシの花の英語名です。花言葉は「洗練」で、その花言葉どおりに洗練された機体が琵琶湖の上を優雅に飛行しました。

今年のパイロットで3年生の熊倉賢人さんはインタビューで、「去年優勝していたこともあり、とてもプレッシャーを感じる大会だった。台風が近づく悪天候の中、各チームは苦戦していたが、二連覇したことで去年の優勝がまぐれではないと証明できたのが一番うれしい。」と話してくれました。パイロットとして減量もしたそうです。

同じく3年生で前代表で主任設計の稲付祐介さんは、「ディフェンディングチャンピオンとして挑む大会でした。パイロットの身体に合わせた機体を1からすべて作り変える作業が始まり、構造設計者とのやりとりは30回以上、機体のデータだけで46機分も設計し、最高の機体が完成できました。機体、パイロット、風、勝つための条件はその3つが揃うこと。設計段階で去年より性能の良い機体ができ自信はありましたし、パイロットの飛行技術のレベルは確認済みでしたが、当日の台風12号の接近が自信を不安に変えていきました。多くのチームが台風の影響で満足な飛行ができない中、僕らの滑走順がやってきました。無我夢中で押し出した機体のテールが手から離れ、湖面へと飛んでいく後ろ姿を今でも覚えています。僕らは二連覇しましたが、歴代記録の更



第41回鳥人間コンテスト



生産工学部津田沼航空研究会

新には及ばず、その夢は後輩たちに任せようと思っています。」と語ってくれました。

新部長の銅坂昌己さん(2年生)はインタビューで、「先輩方の二連覇を受け、やってくれたな!と思った。自分はあんまりプレッシャーを感じない方なので、自分達らしい良い機体を作り、ベストを尽くしたいと思っています。」と話してくれました。

津田沼航空研究会の活躍の様子は日本大学生産工学部のホームページでスペシャルサイトとして紹介していますので、是非ご覧ください。

現在は1、2年生が優勝機体の破損箇所を修復中です。修復することで機体の構造の基本などを学べます。また、次の大会に向け、来年4月の完成を目指してすでに新しい機体の設計に取り掛かっています。次の大会はどの

チームも打倒津田沼航空研究会で挑んでくると思いますが、それに負けないように津田沼航空研究会も頑張ることと思います。我々校友も精一杯応援していきたいと思いますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。



機体名は「Gardenia」

生産工学部と習志野市が地域防災力向上に関する覚書を締結しました。

平成30年10月26日(金)、習志野市役所に於いて、「日本大学生産工学部と習志野市の地域防災力向上に関する覚書」の調印式が行われました。出席者は習志野市側が宮本泰介習志野市長、米山則行危機管理監、遠山慎治政策経営部長、市川隆幸総務部長、内海忠政策経営部次長、江川幸成総合政策課長、加藤征二危機管理課長の7名、生産工学部側が落合実生産工学部長、逆井彰事務局長、廣田直行学務担当、南澤宏明広報担当、村上義孝事務局次長の5名でした。この覚書は平成26年5月に締結した「習志野市と日本大学生産工学部の包括的連携に関する協定書」に基づき、大規模災害に備えた地域防災活動を目的としています。具体的には、災害時におけるドローンによる情報収集、防災講座、防災訓練、その他地域防災イベントへの参画、地域防災力向上に係る研究協力についての連携になります。調印式後の記者会見で、落合実生

産工学部長は「学生が地元根付いて活動するのは勉学の糧になる。大学としてもさらなる協力、貢献を進めていきたい。」と述べ、宮本市長も「生産工学部の学生には日頃から消防団活動やイベントを通じてお世話になっている。今回の画期的な調印を機により連携を充実させていきたい。」と述べました。



調印式

平成30年度 生産工学部校友会 代議員総会

生産工学部校友会の代議員総会が6月16日(土)市川グランドホテルで行われました。総会は約170名の校友会代議員が出席して行われました。議長に澤政利建築部会会長、書記に河原和人電気電子部会会長が選出され、平成29年度事業報告、平成29年度経常収支、平成29年度監査報告、平成30年度事業計画(案)、平成30年度経常収支(案)の報告と議案が渡邊昭廣財務委員長と大澤慶吉監査委員長により説明があり、承認されました。



代議員総会

平成29年度 経常収支決算書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

1. 収支計算の部

(円:減額/単位:円)

収入の部	収入の部	平成29年度予算額	平成29年度決算額	差額	備考
小計	小計				
会費収入	会費収入	(5,000)	(894)	(4,106)	基金収入
5,000	500	4,500	350	4,150	学生会費
会費収入	会費収入	(40,000,000)	(39,244,000)	(756,000)	学生会費
40,000,000	39,244,000	756,000	756,000	0	学生会費
会費収入	会費収入	(800,000)	(558,000)	(242,000)	学生会費
800,000	558,000	242,000	242,000	0	学生会費
会費収入	会費収入	(13,100,000)	(1,708,819)	(11,391,181)	学生会費
13,100,000	1,708,819	11,391,181	11,391,181	0	学生会費
会費収入	会費収入	(1,500,000)	(1,708,819)	(208,819)	学生会費
1,500,000	1,708,819	208,819	208,819	0	学生会費
収入合計	収入合計	(43,110,000)	(42,620,619)	(489,381)	
43,110,000	42,620,619	489,381	489,381	0	
収入合計	収入合計	(77,474,171)	(77,474,171)	0	
77,474,171	77,474,171	0	0		
収入合計	収入合計	(119,559,171)	(119,559,171)	0	
119,559,171	119,559,171	0	0		

支出の部	支出の部	平成29年度予算額	平成29年度決算額	差額	備考
小計	小計				
役員報酬	役員報酬	(4,100,000)	(4,173,633)	(73,633)	役員報酬
4,100,000	4,173,633	73,633	73,633	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(3,500,000)	(3,593,537)	(93,537)	役員報酬
3,500,000	3,593,537	93,537	93,537	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(600,000)	(571,728)	(28,272)	役員報酬
600,000	571,728	28,272	28,272	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(1,000,000)	(626,958)	(373,042)	役員報酬
1,000,000	626,958	373,042	373,042	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(5,250,000)	(4,863,414)	(386,586)	役員報酬
5,250,000	4,863,414	386,586	386,586	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(3,100,000)	(3,019,306)	(80,694)	役員報酬
3,100,000	3,019,306	80,694	80,694	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(300,000)	(310,588)	(10,588)	役員報酬
300,000	310,588	10,588	10,588	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(200,000)	(112,884)	(87,116)	役員報酬
200,000	112,884	87,116	87,116	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(100,000)	(82,428)	(17,572)	役員報酬
100,000	82,428	17,572	17,572	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(300,000)	(192,814)	(107,186)	役員報酬
300,000	192,814	107,186	107,186	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(400,000)	(400,000)	0	役員報酬
400,000	400,000	0	0		
役員報酬	役員報酬	(21,100,000)	(20,772,942)	(327,058)	役員報酬
21,100,000	20,772,942	327,058	327,058	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(6,000,000)	(5,815,232)	(184,768)	役員報酬
6,000,000	5,815,232	184,768	184,768	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(2,000,000)	(2,425,000)	(425,000)	役員報酬
2,000,000	2,425,000	425,000	425,000	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(300,000)	(259,769)	(40,231)	役員報酬
300,000	259,769	40,231	40,231	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(800,000)	(663,500)	(136,500)	役員報酬
800,000	663,500	136,500	136,500	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(1,500,000)	(1,798,580)	(298,580)	役員報酬
1,500,000	1,798,580	298,580	298,580	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(3,000,000)	(3,000,000)	0	役員報酬
3,000,000	3,000,000	0	0		
役員報酬	役員報酬	(4,000,000)	(3,827,064)	(172,936)	役員報酬
4,000,000	3,827,064	172,936	172,936	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(2,000,000)	(1,923,737)	(76,263)	役員報酬
2,000,000	1,923,737	76,263	76,263	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(4,000,000)	(3,854,782)	(145,218)	役員報酬
4,000,000	3,854,782	145,218	145,218	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(2,500,000)	(2,399,499)	(100,501)	役員報酬
2,500,000	2,399,499	100,501	100,501	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(1,000,000)	(969,448)	(30,552)	役員報酬
1,000,000	969,448	30,552	30,552	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(500,000)	(578,040)	(78,040)	役員報酬
500,000	578,040	78,040	78,040	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(600,000)	(418,595)	(181,405)	役員報酬
600,000	418,595	181,405	181,405	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(0)	(0)	0	役員報酬
0	0	0	0		
役員報酬	役員報酬	(1,000,000)	(1,000,000)	0	役員報酬
1,000,000	1,000,000	0	0		
役員報酬	役員報酬	(1,000,000)	(1,172,828)	(172,828)	役員報酬
1,000,000	1,172,828	172,828	172,828	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(1,000,000)	(1,172,828)	(172,828)	役員報酬
1,000,000	1,172,828	172,828	172,828	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(27,000,000)	(26,426,793)	(573,207)	役員報酬
27,000,000	26,426,793	573,207	573,207	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(82,531,171)	(82,616,440)	(85,269)	役員報酬
82,531,171	82,616,440	85,269	85,269	0	役員報酬
役員報酬	役員報酬	(119,559,171)	(119,559,171)	0	役員報酬
119,559,171	119,559,171	0	0		

事業報告

会員の状況(平成30年3月31日現在)正会員83,798名 学生会員6,607名

●事業関係

年月日	内	容
29. 4. 1	平成 29 年度入学生に記念品を贈呈	
4. 10	会計監査	
6. 17	平成 29 年度代議員総会開催	
7. 3	東進部会10人出陣への助成金を贈る	
7. 7	鳥人間コンテストへの助成金を贈る	
7. 28	ルービックキューブ日本大会優勝祝金を贈る	
8. 26	工科学4学部校友会連合会	
10. 31	鳥人間コンテスト祝勝会への助成	
10. 31	第10回風力発電コンペ WINCOM 2017 への助成	
10. 31	キャンパスガイド表紙デザインコンペへの助成	
10. 31	留学生研修旅行への助成	
11. 1	桜葉実行委員会への助成	
11. 5	「母校を訪ねる会」へ協賛	
11. 10	生産工学部 産業実習・就職企業懇談会へ協賛	
12. 13	「産生工」2017 No.47 発行	
30. 2. 28	新代議員説明会開催	
3. 25	平成 29 年度卒業生 (18 名) に校友会費を贈呈	
3. 28	キャンパスカレンダー 2018 発行 全学生、教職員に配布	

●会議関係

年月日	会議名	内	容
29. 4. 10	財務・監査・事務局委員会	29 年度決算報告のまとめ	
4. 24	財務・監査・事務局委員会	29 年度予算案のまとめ	
5. 19	運営協議会	29 年度決算報告、30 年度予算案、総会について	
6. 1	幹事会	29 年度決算報告、30 年度予算案、総会について	
6. 17	代議員総会	29 年度決算報告・事業報告、30 年度予算・事業案	
6. 27	財務・監査委員会	総会の会計報告のまとめ	
9. 21	運営協議会	母校を訪ねる会について	
10. 16	財務・監査・事務局委員会	上半期の決算報告のまとめ	
10. 18	幹事会	母校を訪ねる会について	
11. 16	運営協議会	母校を訪ねる会の報告、拡大顧問協議会について	
11. 24	拡大顧問協議会	石井常務理事、葛谷副学長再任祝並びに高野理事慰労会	
30. 1. 11	広報委員会	産生工について	
1. 25	校友会新年会	校友会役員による新年会	
2. 15	幹事会	新代議員説明会、校友会費について	
2. 28	新代議員説明会	校友会の歩みと活動内容の説明	

●対外関係

年月日	内 容	出席者
4. 3	日本大学体育連合会 大会式典	高野 他
4. 7	日本大学校友会 第1回 常任委員会	高野 他
4. 13	財務・監査・事務局委員会	高野 他
4. 14	財務・監査・事務局委員会	高野 他
4. 20	日本大学校友会 第2回 常任委員会	高野 他
4. 22	日本大学校友会 第3回 常任委員会	高野 他
4. 25	生産工学部校友会 第1回 常任委員会	高野 他
4. 29	生産工学部校友会 第2回 常任委員会	高野 他
5. 7	生産工学部校友会 第3回 常任委員会	高野 他
5. 9	生産工学部校友会 第4回 常任委員会	高野 他
5. 10	生産工学部校友会 第5回 常任委員会	高野 他
5. 12	生産工学部校友会 第6回 常任委員会	高野 他
5. 13	生産工学部校友会 第7回 常任委員会	高野 他
5. 17	生産工学部校友会 第8回 常任委員会	高野 他
5. 19	生産工学部校友会 第9回 常任委員会	高野 他
5. 19	第1回 常任委員会	高野 他
5. 20	生産工学部校友会 第10回 常任委員会	高野 他
5. 23	生産工学部校友会 第11回 常任委員会	高野 他
5. 24	生産工学部校友会 第12回 常任委員会	高野 他
5. 25	生産工学部校友会 第13回 常任委員会	高野 他
5. 27	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
5. 28	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
5. 30	生産工学部校友会 第14回 常任委員会	高野 他
6. 1	生産工学部校友会 第15回 常任委員会	高野 他
6. 2	日本大学校友会 第16回 常任委員会	高野 他
6. 9	生産工学部校友会 第16回 常任委員会	高野 他
6. 14	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
6. 15	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
6. 16	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
6. 17	生産工学部校友会 第17回 常任委員会	高野 他
6. 18	日本大学校友会 第17回 常任委員会	高野 他
6. 21	生産工学部校友会 第18回 常任委員会	高野 他
6. 24	生産工学部校友会 第19回 常任委員会	高野 他
6. 26	生産工学部校友会 第20回 常任委員会	高野 他
6. 27	生産工学部校友会 第21回 常任委員会	高野 他
7. 1	生産工学部校友会 第22回 常任委員会	高野 他
7. 7	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
7. 8	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
7. 13	生産工学部校友会 第23回 常任委員会	高野 他
7. 14	生産工学部校友会 第24回 常任委員会	高野 他
7. 14	生産工学部校友会 第25回 常任委員会	高野 他
7. 15	日本大学校友会 第26回 常任委員会	高野 他
7. 19	生産工学部校友会 第26回 常任委員会	高野 他
7. 20	日本大学校友会 第27回 常任委員会	高野 他
7. 21	生産工学部校友会 第27回 常任委員会	高野 他
7. 21	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
7. 22	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
7. 23	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
7. 24	生産工学部校友会 第28回 常任委員会	高野 他
7. 25	生産工学部校友会 第29回 常任委員会	高野 他
7. 26	生産工学部校友会 第30回 常任委員会	高野 他
7. 27	生産工学部校友会 第31回 常任委員会	高野 他
7. 28	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
7. 28	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
7. 28	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
7. 28	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
8. 3	生産工学部校友会 第32回 常任委員会	高野 他
8. 3	日本大学校友会 第32回 常任委員会	高野 他
8. 23	生産工学部校友会 第33回 常任委員会	高野 他
8. 25	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
8. 26	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
8. 31	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
9. 3	生産工学部校友会 第34回 常任委員会	高野 他
9. 10	日本大学校友会 第34回 常任委員会	高野 他
9. 14	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
9. 15	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
9. 30	生産工学部校友会 第35回 常任委員会	高野 他
10. 4	生産工学部校友会 第36回 常任委員会	高野 他
10. 14	生産工学部校友会 第37回 常任委員会	高野 他
10. 20	生産工学部校友会 第38回 常任委員会	高野 他
10. 21	生産工学部校友会 第39回 常任委員会	高野 他
10. 27	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
10. 27	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
10. 28	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
11. 2	生産工学部校友会 第40回 常任委員会	高野 他
11. 3	日本大学校友会 東京地区支部 総会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第41回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第42回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第43回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第44回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第45回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第46回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第47回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第48回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第49回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第50回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第51回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第52回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第53回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第54回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第55回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第56回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第57回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第58回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第59回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第60回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第61回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第62回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第63回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第64回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第65回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第66回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第67回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第68回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第69回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第70回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第71回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第72回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第73回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第74回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第75回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第76回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第77回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第78回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第79回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第80回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第81回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第82回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第83回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第84回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第85回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第86回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第87回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第88回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第89回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第90回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第91回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第92回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第93回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第94回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第95回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第96回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第97回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第98回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第99回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第100回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第101回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第102回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第103回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第104回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第105回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第106回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第107回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第108回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第109回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第110回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第111回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第112回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第113回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第114回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第115回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第116回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第117回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第118回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第119回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第120回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第121回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第122回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第123回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第124回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第125回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第126回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第127回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第128回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第129回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第130回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第131回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第132回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第133回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第134回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第135回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第136回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第137回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第138回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第139回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第140回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第141回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第142回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第143回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第144回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第145回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第146回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第147回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第148回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第149回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第150回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第151回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第152回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第153回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第154回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第155回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第156回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第157回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第158回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第159回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第160回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第161回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第162回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第163回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第164回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第165回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第166回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第167回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第168回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第169回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第170回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第171回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第172回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第173回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第174回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第175回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第176回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第177回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第178回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第179回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第180回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第181回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第182回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第183回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第184回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第185回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第186回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第187回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第188回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第189回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第190回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第191回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第192回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第193回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第194回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第195回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第196回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第197回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第198回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第199回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第200回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第201回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第202回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第203回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第204回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第205回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第206回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第207回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第208回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第209回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第210回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第211回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第212回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第213回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第214回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第215回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第216回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第217回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第218回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第219回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第220回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第221回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第222回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第223回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第224回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第225回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第226回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第227回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第228回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第229回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第230回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第231回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第232回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第233回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第234回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第235回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第236回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第237回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第238回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第239回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第240回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第241回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第242回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第243回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第244回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第245回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第246回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第247回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第248回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第249回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第250回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第251回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第252回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第253回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第254回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第255回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第256回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第257回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第258回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第259回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第260回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第261回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第262回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第263回 常任委員会	高野 他
11. 3	生産工学部校友会 第264回 常任委員会	高野 他
11. 3		

平成30年度 生産工学部校友会代議員総会 懇親会



ご挨拶される高野和雄生産校友会会長



ご挨拶される江黒俊弘日本大学本部校友会事務局次長



ご挨拶される落合実生産工学部長



乾杯の音頭をとる石井進日本大学常務理事

平成30年度 生産工学部校友会代議員総会懇親会は澤政利建築部会長による開会の辞、そして校歌斉唱の後、高野和雄生産工学部校友会会長が生産工学部校友会のホームページがリニューアルされ校友会の活動の他、様々な情報が掲載されているので是非、ご覧ください。また、生産工学部70周年に向けて寄付金の積み立てを始めた旨の話をされました。（現在までに生産工学部校友会からの寄付金は生産工学部奨学金基金1億2,000万円と本部校友会日本大学創立130年記念事業1,000万円とを合わせて合計金額1億3,000万円になりました。）

次に、落合実生産工学部長（日本大学副学長生産工学部校友会名誉会長）からは生産工学部のこれからの事業、今年度卒業生の就職率と生産実習などのお話をいただきました。

ご来賓の日本大学校友会本部の江黒俊弘事務局次長より日本大学アメフト問題で現在、日本大学は創設以来、最大の危機に直面しているが

教職員一同、初心に帰り、学生ファーストの日本大学を進めて行きますとご挨拶がありました。

石井進日本大学常務理事（日本大学校友会千葉県支部長）の乾杯で懇親会がはじまり、お集まりいただいたご来賓と校友約200人が和やかに祝宴を楽しみました。（今年も11名の留学生をご招待しました）



ご招待した留学生



環境安全工学科・創生デザイン学科創設十周年記念祝賀会を終えて

平成21年4月、生産工学部は時勢のニーズに応えるべく「環境安全工学科」および「創生デザイン学科」の二学科が新設され、計9学科となりました。去る平成30年9月29日（土）、生産工学部39号館カフェテリアにおいて、『環境安全工学科・創生デザイン学科創設十周年記念祝賀会』が催されました。午後3時より行われました同祝賀会は、落合実日本大学副学長・生産工学部長、石井進日本大学常務理事、高野和雄生産工学部校友会会長を始め、多くのご来賓をお招きして盛大に執り行われました。

当日、台風の影響で生憎の雨天にもかかわらず、同祝賀会には、ご来賓16名、教職員101名、校友会関係者27名、両学科卒業生221名、総勢365名のご列席がありました。

はじめに、発起人代表として環境安全工学科主任の岩下圭之教授より開会の辞に始まり、次に、落

合実日本大学副学長・生産工学部長、石井進日本大学常務理事、逆井彰生産工学部事務局長よりご祝辞があり、発起人のお一人である高野和雄生産工学部校友会会長よりご挨拶がありました。

続いて、落合実先生、石井進先生、逆井彰事務局長、高野和雄校友会会長及び両学科主任の先生方による祝いの鏡開きが行われ、創生デザイン学科主任の竹島正博教授の乾杯のご発生により、開演致しました。宴は、両学科の卒業生と教職員等がそれぞれ旧交を温め、終始和やかな雰囲気の中行われました。歓談中には、当時の新学科設立委員会の委員長であられた木田哲量元教授、環境安全工学科1期生小泉賢人様、創生デザイン学科2期生榊原由貴様よりご祝辞をいただきました。

最後は、日本大学生産工学部学部長の清水正一先生の閉会の辞でお開きとなりました。



工科系校友会連絡会

第36回日本大学工科系校友会連絡会が平成30年9月1日（土）、日本大学校友会館（市ヶ谷）で開催されました。4学部校友会幹事約40名が参加。最初に主催校である木田哲量理工学部校友会会長のご挨拶で始まり、中野伍朗工学部校友会会長、高野和雄生産工学部校友会会長、内倉和雄薬学部校友会会長のご挨拶がありました。

話題としては、各学部校友会の事業報告が中心でした。

懇親会にご来賓として石井進日本大学常務理事、岡田章理工学部学部長、三橋満理工学部事務局長、出村克宣工学部学部長、渡邊和美工学部事務局長、落合実生産工学部学部長、逆井彰生産工学部事務局長、本橋重康薬学部学部長、

齋藤正道薬学部事務局長にご出席していただきました。当番校である木田哲量理工学部校友会会長の開会の辞ではじまり、会は和やかな祝宴になりました。最後に次回当番校である中野伍朗工学部校友会会長の閉会の辞でお開きとなりました。





第11回 風力発電コンペWINCOM2018

平成30年11月4日(日)、津田沼校舎37号館8階にて第11回風力発電コンペWINCOM2018が開催されました。

今年度は過去最高となる40チームに参加いただき、発電量部門・エネルギー利用部門ともに大盛況のうちに無事終わることができました。日本大学生産工学部校友会賞には、千葉県立館山総合高等学校チームの「館総の風力発電機(垂直)」、日本風力

エネルギー学会長井浩記念賞には、山形県立山形工業高等学校チームの「YAMAKO-T-2018」、最優秀賞には足利大学附属高等学校チームの「Brand New Wind 2018」が選ばれました。

来年度も、さらに盛大な大会となるようスタッフ一同一丸となって取り組む所存ですので、今後ともご支援の程宜しくお願いいたします。



全体集合風景



校友会賞受賞チームの風車

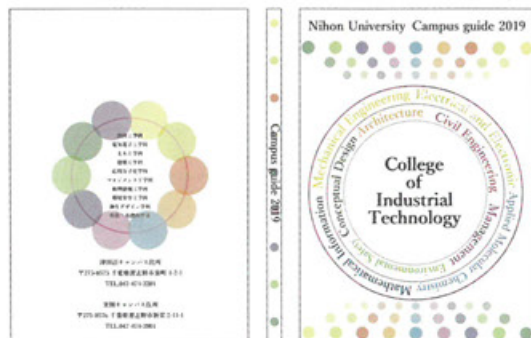
2019年度キャンパスガイド表紙デザインコンペ

平成30年11月3日(土)津田沼校舎39号館1階ギャラリーで2019年度キャンパスガイド表紙デザインコンペ作品審査を行いました。

最優秀賞	学科間を縁で繋げる CIT	野中 俊彦	建築工学科4年
優秀賞	手が学び、切り開く	井手 優汰	建築工学専攻2年
//	新時代を生産工から	涌井 優	電気電子工学科4年
佳作	輪るメリーゴーランド	齋藤 啓太	創生デザイン学科4年
//	切符	菊池 勇人	創生デザイン学科3年
//	9羽の鳥	鈴木 葉奈	建築工学科4年
//	青春桜花	高橋 朋	建築工学科3年
//	深海	鈴木 友理	創生デザイン学科4年
校友会賞	大学生活必需品	鈴木 風太	創生デザイン学科4年
//	世界を広げよう	杉浦 友崇	創生デザイン学科4年
//	とびたて	鈴木 紀乃	創生デザイン学科1年
//	未来を見る EYE	岡田 七海	創生デザイン学科3年
//	て	松枝 朝	建築工学専攻2年
//	130年のその先へ。	大沼謙太郎	建築工学専攻1年
//	円と緑の桜	佐藤 幸峰	建築工学専攻1年
//	キャンパスガイド 2019	高野 真実	建築工学専攻1年
//	生産工学が世界を支える	関 千穂子	建築工学専攻1年
//	かざぐるま	井出 綾香	建築工学専攻1年
//	日の出	門田 衛	創生デザイン学科4年
//	人型色	広瀬健次郎	創生デザイン学科4年
//	はじまり	西澤 優里	創生デザイン学科4年
//	煌	春木 政人	創生デザイン学科4年
//	彩色	望月 幸一	創生デザイン学科4年



表彰式



最優秀賞作品デザイン



第30回 母校を訪ねる会・桜泉祭

生産工学部では毎年桜泉祭(旧泉祭)の時期(今年度は11月4日～11月5日)に「母校を訪ねる会」を開催し、皆様をご招待申し上げております。今年度は卒業50年(昭和43年卒業)、卒業40年(昭和53年卒業)、卒業30年(昭和63年卒業)、卒業20年(平成10年卒業)及び卒業10年(平成20年卒業)を経た皆様を対象に第30回「母校を訪ねる会」を開催致しました。懇親会は39号館2階食堂で行われました。佐野洋之応用分子化学部会長の開会の辞で始まり、落合実生産工学部長、高野和

雄生産工学部校友会会長、石井進生産工学部校友会相談役にご挨拶を頂きました。逆井彰生産工学部事務局長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

また、今回は生産工学部津田沼航空研究会が平成29年、30年の鳥人間コンテストの滑空機部門で優勝し、2連覇を達成したことによる祝勝会も兼ねて行いました。OB・OGの方々とご家族が在学当時の先生方をはじめ教職員との懇談やお互いの旧交を深めました。



桜泉祭



母校を訪ねる会

第13回日進会(教職員・校友会合同)ゴルフコンペ

平成30年10月4日(木)日本大学創立記念日に山武カントリー倶楽部に於いて、生産工学部教職員と生産工学部校友会幹事等で合同ゴルフコンペを16組で開催致しました。競技方法は18ホール新ペリア方式・上限なし(同ネットは年長者上位)で行われました。個人戦優勝は和泉剛さん(教職員)準優勝は

浜田哲さん(教職員)、3位は水口和彦さん(教職員)でした。団体戦優勝は教職員チーム、準優勝は校友会チームでした。天候にも恵まれ今年も教職員と校友会が仲良くゴルフを満喫し、和やかに表彰式と祝宴が催されました。

次回の幹事は教職員です。



2018年10月4日 山武グリーンカントリークラブ

鈴木 晴香(旧姓成田) 数理情報工学科卒業

大学生の頃は、数学の教員を目指し頑張りました。研究室は数学の有用性が学ぶことができる見坐地研究室に入りました。そこで、社会で数学がどのように使われているかを様々な経験から実感することができました。インターンシップでは音響実験から防音材の音響特性を予測する数理モデルを構築しコンピュータを用いて計算することにより、高性能な防音材をつくるために数学が使われていること学びました。また、卒業研究では腕の筋肉の数理モデルを用いて筋肉の運動特性を解析しました。社会人になった今は、中学校の教諭として、数

学が社会でどのように使われているかを伝えながら、数学の基礎学力の向上や興味関心を高められるように努めています。3年経っても教材研究には時間がかかりますが、生徒たちのわかった!という顔を思い浮かべながら授業の準備をしています。教員は大変なイメージがあるかもしれませんが、行事や毎日の中で見られる生徒の成長には他の何にも代えがたい感動があります。教員を目指している学生みなさん、生産工学部で経験したことに誇りをもって学校現場で生かしてください。ぜひ教員の楽しさを分かち合いましょう。



鈴木 晴香さん



恩師の見坐地先生と

菅原 知里 電気電子工学科卒業

みなさんこんにちは。電気電子工学科を卒業した菅原知里です。プラント建設会社に入社して2年目、電気計装工事関係の設計業務を担当しています。

私は大学4年生の時に、学年の幹事長になりました。特に思い出に残っていることは卒業パーティーを行ったことです。例年電気科では企画がなく、幹事になったきっかけも卒業パーティーを開催したかったからです。幸運なことに私には「やりたい」と言ったら協力してくれる友人がいました。その友人

とは社会人になってからも交流が続いています。私が学生時代にやっておくべきことは、やりたいと思ったことがあったらとにかく、チャレンジしてみることと大切な友人をつくっておくことだと思います。

社会人生活は、2年目になると任せてもらえることが増えてきます。先日初めて海外に打ち合わせにも行きました。仕事を進めると、こんなはずではなかったということもたくさん出てきます。しかし、学生時代に経験したことを振り返って何事も挑戦だという気持ちで乗り越えています。



協力してくれた友人達



電気電子工学科 卒業パーティー



機械工学科

【学生数】学部757名 大学院（前期）75名 （後期）9名

【トピックス】本年3月3日、校友会機械部会主催にて、野本光輝先生と小幡義彦先生の退職慰労会が催され、「65年間のエピソード」というテーマで小幡先生による興味深く笑いの絶えないご講演がありました。また、講演会後に催された謝恩会には多数の関係者が参加され、両先生方の人望の厚さが伺われました。改めまして、野本先生と小幡先生には長年にわたる機械工学科へのご貢献に感謝申し上げます。一方、本年4月、鈴木康介氏が助手として機械工学科に着任されました。鈴木助手は日本大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士後期課程を修了され、東京製綱株式会社において9年間にわたり研究開発や技術サービスの業務に就かれていました。専門は生産工学で、リサイクルプラスチックを用いた成形に関する研究に取り組みされており、今後のご活躍が期待されます。その他、機械工学科のホームページ (<http://www.me.cit.nihon-u.ac.jp/>) では、様々なニュースを紹介していますので是非ご覧ください。



鈴木康介助手



野本光輝先生

小幡義彦先生

電気電子工学科

【学生数】学部672名 大学院（前期）31名 （後期）2名

【人事】今年度は中西哲也教授が学科主任、原一之教授が専攻主任として学科・専攻運営に携わっております。また、関智弘先生が教授に昇格され、本学科卒業生の江頭雅之氏が助手として着任しました。平成29年度には、長年、教育・研究にご尽力された坂口浩一教授がご退職され、4月より特任教授となりました。

【トピックス】4月21日、22日の1泊2日で、新入生の本学科オリエンテーションが行われました。千葉県内にあるマザー牧場にて、バーベキュー、散策およびグループミーティングを行い、新入生との親睦を深めました。

今年度より、大学院電気電子工学専攻の学生による研究報告会を始めました。この研究発表会は大学院の学生が研究によって得られた結果を、専門外の人にもわかりやすく説明して情報交換を行なうことを目的としています。

蒔田鐵夫教授が電気設備学会功績賞を受賞しました。蒔田先生は電気設備学会において評議委員および本部理事として学会運営に尽力し、さらには電気設備に関する学術研究の進展に寄与、多くの技術者・研究者の育成に多大なる貢献が認められ受賞されました。

坂口浩一教授が映像情報メディア学会 放送技術研究委員会 功労賞を受賞しました。坂口先生は映像情報メディア学会 放送技術研究委員会の専門委員として、発展向上への寄与が認められ受賞されました。

関智弘教授が電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究専門委員会 功労賞および電子情報通信学会 通信ソサイエティ 活動功労賞を受賞しました。

内田暁教授が日本大学海外派遣研究員(長期)としてクイーンズランド工科大学(オーストラリア)に1年間滞在し、固体照明光源及び照明設計に関する調査・研究を行っています。また、平成30年10月から原一之教授が日本大学海外派遣研究員(短期)としてアストン大学(英国)に1か月滞在し、人工知能の中心技術であるディープネット学習に関する研究を行います。



関智弘教授



江頭雅之助手



1年生オリエンテーション(マザー牧場にて)

土木工学科

【学生数】学部生817名、大学院（前期）39名 （後期）8名

【人事】今年度は、学科主任に小田晃教授が任命、専攻主任に秋葉正一教授が再任されています。また、青山定敬専任講師と加納陽輔専任講師が准教授に昇格され、教授11名、准教授5名、専任講師2名、助教1名、助手1名の体制となっています。なお、鷺見浩一教授が4月から半年間、アメリカのデラウェア大学へ海外派遣研究員として留学されています。

【トピックス】4月4、5日の1泊2日で、1年生のオリエンテーション旅行として千葉県南房総市に行き、グループでのミーティングや飯盒炊爨でコミュニケーションを図り、親睦を深めました。3年生は、9月10、11日の1泊2日で生産実習旅行として、東京外環自動車道中央JCTとハッ場ダムの見学、そして宿泊先の草津温泉でOB講演を聴講しました。また、6月に佐藤克己准教授、高橋岩仁准教授、森田弘昭教授が環境技術学会第20回論文賞を受賞しました。



建築工学科

【学生数】学部852名 大学院（前期）50名 （後期）5名

【トピックス】宮脇展開催 （2018年9月29日から10月21日まで） 生産工学部39号館1階ギャラリーにて

昨秋、本学にて『宮脇 手が考える・手で教える』展が開催されました。これは本学居住空間デザインコース創設にあたりお招きした故宮脇先生のJIA全国巡回展『建築家・宮脇のドローイング展』と、本学制作の『教育者・宮脇へのオマージュ展』のジョイント開催で、一般建築関係者のみならず、本学学生、教員にとり改めて宮脇先生の実践された教育のリアリティと今日性、そして人間宮脇を知る貴重な機会となりました。

病床にあった宮脇氏が、「M氏のための別荘」という1年生課題30人の案それぞれに、評や指導をユーモアを交えて丁寧に記したイエローノート^{注1)}は学生への愛と夢であり、一方同時期に記された事務所所員との打合せトレーシングペーパー^{注2)}は、カラフルな色鉛筆の生き生きとした表現の中に具体的な指示や厳しい言葉が並び、空間創造への強い意志があふれます。両者の対比は、本展覧会の見所のひとつでした。コース発足当時より宮脇先生と一緒に教鞭をとられた先生方がトークショーで語られた教育のディテールは、すべて今日我々に求められる教育の姿そのものであると再認識するものでした。

注1) 黄色いトレーシングペーパー（宮脇先生愛用）

注2) 設計案を練る時によく使う下が透ける半透明の薄紙



展覧会ポスター（巡回展（赤）・生産工（青））



オープンを待つ会場



応用分子化学科

【学生数】学部生676名、大学院生（前期）40名 （後期）2名

【人事】平成30年度は山田和典教授が学科主任を選出され、専攻主任に日秋俊彦教授が任命されました。木村悠二助教が専任講師に、吉宗一晃准教授が教授に昇格されました。これにより平成30年度の教員構成は教授9名、研究所教授2名、准教授5名、専任講師2名で研究室数は14です。なお、学科に関する最新の情報はホームページ（<http://www.ic.cit.nihon-u.ac.jp>）をご覧ください。

【トピックス】○2018年5月に津野教授の論文がChemistry OpenのFront Coverを飾りました。○3月に博士前期課程1年の長嶋恭介君と学部4年生の加藤佐和子さんが日本海水学会学生研究発表会で優秀賞を受賞しました。○3月に学部4年生の草刈眞一君が第35回高分子学会千葉地域活動若手セミナーで最優秀発表賞を受賞しました。○学外オリエンテーションは4月21日から1泊2日の日程で羽田空港での整備場見学、科学未来館での施設見学の他にグループワークの企画に取り組み、新入生同士や教員との親睦を深めました。○中釜達朗教授が、公益社団法人日本工学教育協会から教育士（工学・技術）に認定されました。○5月に分離技術会年会2018で博士前期課程2年の藤田拳人君が学生賞を、同2年の前田若菜さんが奨励賞を受賞しました。○6月に日本海水学会第69年会で博士前記過程2年の木村太一君が黒潮賞を受賞しました。○7月31日に千葉県総合教育センター主催の科学技術研修（化学コース）を実施し、高橋大輔専任講師と山根庸平専任講師が千葉県内の公立小・中・高等学校で理科を担当されている教員の研修に協力しました。



学外オリエンテーションでのグループワークの様子

マネジメント工学科

【学生数】学部746名 大学院（前期）25名 （後期）5名

【トピックス】マネジメント工学科ではビジネスマネジメントや企業システム、あるいはフードビジネスに関するさまざまなユニークな授業が行われています。なかでも学科の特色が反映されているのが「生産工学特別講義」です。実際に企業で活躍されているOBの方々などを講師に迎えています。「企業活動のどのような点に重きを置いているのか」「会社を運営するうえでどのようなことに工夫を凝らしているのか」といったことを毎回、独自の観点から話していただいております。学生はみな熱心に話に聞き入っており、鋭い質問が飛び出すことも少なくありません。活気のある授業です。

またマネジメント工学実験では実習を通してマネジメント工学の各種分析手法などについて理解を深めることを主眼としています。サプライチェーンの設計と解析など、ビジネスや経営の考え方や実務に直結する実験が行われています。学生も教員も頭を使うだけでなく、手も動かしながらの作業を行い、科学を切り口にしてマネジメントについての実践力を養っています。



生産工学特別講義の授業風景



工学実験の授業風景

数理情報工学科

【学生数】学部生639名、大学院生（前期）30名 （後期）2名

【トピックス】数理情報工学科の伊東先生、古市先生及び粟飯原先生の3名を中心としたメンバーで、東京ゲームショウ2018(2018年9月20～23日に幕張メッセで開催)に出展しました。学生が制作したシリアスゲームである FishyFishy!とVRサイクリングシミュレータに加えて、第6回シリアスゲームジャムで開発したDiscoveryを、オランダ大使館が用意したオランダバビリオンの中にある展示ブースで展示しました。数理情報工学科では、これまでオランダ人の留学生3人を受け入れた実績があり、オランダバビリオンでの展示が実現しました。今回展示したFishy-Fishy!はその留学生3人が開発に携わり、日蘭合作の英語学習用シリアスゲームとなっています。シリアスゲームに感心の高い企業の方々はもちろん、ゲーム好きの一般の方もブースに多数来ていただき、数理情報工学科を知っていただくことができました。



東京ゲームショウ2018

環境安全工学科

【学生数】学部生522名

【トピックス】校友の皆様を始め、多くの方のご支援ご協力を賜り、学科創設から今年で10年を迎えることができました。そこで9月29日に津田沼キャンパスにおいて創生デザイン学科と合同で創設10周年記念祝賀会が催されました。この一年は学生の研究活動も実を結んでおり、2017年11月に富山市で開催された第55回燃焼シンポジウムにおいて、大学院機械工学専攻2年の秋濱研究室所属の由井寛久君（環境安全工学科平成28年3月卒）がベストプレゼンテーション賞を受賞しました。また、2018年4月に横浜市で開催されたThe 6th Laser Ignition Conference 2018 (LIC2018) にて、大学院機械工学専攻2年の秋濱研究室の坂本隼君（環境安全工学科平成29年3月卒）がYoung Scientist Awardを受賞しました。学内行事では桜泉祭にて、学科の神輿が2年連続優勝を遂げました。古川茂樹教授の陣頭指揮のもと、神輿幹事メンバーがバージョンアップしたお神輿を担ぎ、大久保商店街を練り歩きました。

昨年度3月には学科創設からご尽力いただいた五十畑弘教授が定年退職を迎えました。今年度4月には武村武准教授と保坂成司准教授が教授に昇格されました。また、武村武教授が7月から米国に、亀井真之介専任講師がフランスにそれぞれ7月から3ヶ月間海外派遣研究員として出張されました。



受賞した由井君



優勝したお神輿と集合写真



創生デザイン学科

【学生数】学部生532名

【トピックス】

○イタリアより研究留学生を受け入れました。

イタリア・ボローニャ大学大学院博士課程のカテリーナ・モルガンティさんが2018年8月～12月にわたり客員研究員（研究留学生）として来日しました。研究テーマは「歴史的建築物の保存・活用方法に関する研究」で、板橋区加賀史跡公園を対象に、敷地、建築物の3次元測量を行い、BIMとGISを活用しながら効果的なVRデータの作成を試みています。東京都板橋区、(株)トプコンとの共同研究でもあります。▼受入研究室：中澤研究室

○「これでわかった！未来の技術 2018」に出展しました。

千葉県市川市にある千葉県立現代産業科学館で開催された「これでわかった！未来の技術 2018」に、創生デザイン学科の学生作品を展示しました。3つの研究室からの出展作品を通じて、各研究室の考え方や創生デザイン学科の取り組みなどを垣間見ることができ、大変好評でした。▼参加研究室：遠田研究室、加藤研究室、木下研究室

○環境安全工学科・創生デザイン学科創設10周年記念祝賀会

ご多用のところ、多数ご出席いただき誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。



学科主任とカテリーナさん



これでわかった！未来の技術 2018

教養・基礎科学系

【人事】2018年3月に山川一三男准教授（化学）が定年を迎え、また横田賢司教授（言語文化）が新たな道に進むため退職されました。一方、4月より今滝暢子助教（言語文化）、高橋智輝助教（化学）、中村周平助手（数学）、柴山均助手（物理）が仲間入りしました。

【トピックス】新カリキュラム、クォーター制、CAP20単位制の導入から2年目となります。教員からは「まだ慣れない」という声も聞こえますが、昨年よりはスムーズに進んでいると感じています。学部の流れとして動き始めている「各学科系のイノベーション」のアクションプランの一つとして経営管理能力を有する技術者の育成のための基礎となる科目を次の新カリキュラムから導入すべく、SDGsに関する講習会を教養・基礎科学系全教員向けに開催（8月）しました。また、実習イベントでは、新たに、1年生の希望者によるクリスマスツリーの制作を行っており、津田沼校舎と実習校舎にそれぞれ展示する予定です。



SDGs講習会の様子



クリスマスツリー制作

校友会は、いつまでも卒業生とのつながりを大事にしています！（卒業生100万人と）

日本大学生産工学部校友会誌「桜生工」

発行：日本大学生産工学部校友会

住所：千葉県習志野市泉町1-2-1

TEL：047-476-1140

FAX：047-476-3510

HOME PAGE：http://www.ne.jp/asahi/nuit/koyukai/

E-MAIL：nuitkoyukai@nippon.email.ne.jp

印刷：株式会社 東工

住所：東京都文京区白山2-25-2

TEL：03-5844-6256（代）

FAX：03-5844-6257

編集：日本大学生産工学部

校友会広報委員会